

アジア太平洋循環型都市フォーラムを初開催 循環型都市を目指すアジアの都市リーダーが横浜に集結

優良事例選定プロジェクトなどアジア循環型都市宣言制度の行動計画を発表へ

横浜市と一般社団法人イクレイ日本（以下、「イクレイ日本」という。）は、9月2日（水）から4日（金）（※1）まで、「アジア太平洋循環型都市フォーラム（APCC フォーラム）2026」を共同で開催します。

APCC フォーラムは、環境・経済の両面で持続可能な社会の実現に向け、サーキュラーエコノミー（循環経済）に取り組む都市が集い、国際機関や企業とともに、循環型社会の実現に向けた都市・自治体の役割や貢献について議論し、互いに政策を高め合うためのプラットフォームです。

今回のフォーラムには、アジアを中心とする 30 都市・自治体と国際機関、企業、専門家が参加し、「アジア循環型都市宣言制度（ACCD）（※2）」の宣言都市の取組状況、新たな宣言都市、及び今後の行動計画等を発表します。

※1: 9月2日は海外都市関係者向けのエクスカーショ、3日及び4日はパシフィコ横浜ノースで各セッションを実施

※2: アジア循環型都市宣言制度。令和7年11月、横浜市が発起都市となり、イクレイ日本が創設した国際的な枠組み

ポイント1 ACCD の宣言都市が初めて集結

- 横浜市と共同主催であるイクレイ日本の呼びかけに応え、タイ・バンコク都や、フィリピン・セブ市など ACCD の宣言都市が初めて集結します。テーマに関心のある都市を含め、約 30 都市・自治体が参加予定です（令和8年8月21日時点）。循環型都市の実現に向けた都市のビジョンや取組を発表します。



令和7年11月のアジア・スマートシティ会議
2025におけるACCD設立発表の様子

ポイント2 国際機関や企業等の知見を都市政策に還元

- 国際機関（国連 ESCAP、UNDP、世界銀行、シティネット、世界経済フォーラムなど）や、循環経済の専門機関（エレンマッカーサー財団、サークルエコノミー）から代表者や有識者が参加し、アジアならではの循環型社会の実現に向けた課題と展望に迫ります。
- 循環経済の実装に取り組む企業と共に、建築や製造分野等における現場の課題を共有するとともに、横浜市の取組を題材に、必要な政策や公民連携の可能性を議論します。

APCC フォーラム 2026 で目指す成果

1. 循環型都市のムーブメントを拡大

ACCD の新たな宣言都市をイクレイ日本が発表します。

2. 都市の政策を高め合うアジア独自の仕組みを発表

ACCD 宣言都市の取組状況と課題を基に、アジア都市による優良事例を選定するプロジェクトを立ち上げるなど、イクレイ日本が ACCD の行動計画を公表します。

3. 次世代の声を世界へ

令和9年に APCC フォーラムと同時開催する第9回アジア太平洋都市フォーラム（APUF-9）に向けて、次世代の声を世界へ届けるための学生プロジェクトを立ち上げます。



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【アジア循環型都市宣言制度(ACCD)】

アジア循環型都市宣言制度（ACCD）は、アジアの都市がサーキュラーエコノミーへの移行を加速することを支援する国際的な枠組みです。10 項目から成る本宣言に署名することで、都市は、サーキュラーエコノミーの原則の推進、地域間の連携強化、現在および将来の世代に向けた持続可能で強靱な都市システムの実現に取り組む意思を示します。

欧州では、欧州循環型都市宣言という枠組みのもと、循環型都市への移行が進んでおり、アジアでも同様の枠組みが必要との考えのもと、令和 7 年 11 月に開催されたアジア・スマートシティ会議で、横浜市が発起し、イクレイ日本が設立を発表しました。第一号署名都市となった横浜市を含め、アジア 26 都市（人口規模 5700 万人以上）が本宣言制度に署名（令和 8 年 6 月時点）し、イクレイ日本によって創設都市として位置づけられています。

【アジア太平洋循環型都市フォーラム(APCC フォーラム)】

APCC フォーラムは、これまで 14 回開催してきたアジア・スマートシティ会議の実績を基盤に、横浜市とイクレイ日本が共同で開催する国際フォーラムです。横浜市が発起し創設された「アジア循環型都市宣言制度（ACCD）」の参加都市をはじめ、政府機関・国際機関・研究機関・民間企業のリーダー・専門家など、マルチステークホルダーによる知見共有プラットフォームとして成長させ、アジアにおける循環型の都市づくりの推進を目指します。

なお、令和 9 年には、横浜サーキュラーウィークとして、APCC フォーラム 2027、APUF-9、国際サーキュラー総合展を、8 月 30 日（月）から 9 月 3 日（金）の週の中で同時開催します。

【第9回アジア太平洋都市フォーラム(APUF-9)】

APUF は、国連の経済社会理事会が設置する 5 つの地域委員会の一つである国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）が主催する、持続可能な都市開発分野におけるハイレベル・プラットフォームで、国、都市、国際機関、民間セクターのリーダーらが一堂に会する、アジア太平洋地域最大級のマルチステークホルダー会合です。第 9 回アジア太平洋都市フォーラム（APUF-9）は、横浜市と ESCAP が共同で、令和 9 年 8 月 31 日から 9 月 3 日に、横浜で開催します。4 年ごとの開催で、今回が日本初開催となります。

<取材申込み>

取材をご希望の方は、令和 8 年 9 月 1 日（火）17 時までに、別紙取材申込書に記載の項目をメール本文に記載するか、記入済みの別紙取材申込書を添付して、次のメールアドレスへお申込みください。

取材の対象は、9 月 3 日及び 4 日にパシフィコ横浜ノースで実施する各セッションのみです。

連絡先：政策経営・国際戦略局グローバル都市戦略課

ss-global@city.yokohama.lg.jp

次頁あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(1)APCC フォーラム 2026 概要

テ		マ		アジア太平洋地域における循環型都市移行への道筋 ～都市の結束と具体行動を GREEN×EXPO 2027 とその先へ～	
日 程	9月2日	海外都市関係者向けのエクスカーション			
	9月3日	午前:オープニング、プレナリーセッション① 午後:プレナリーセッション②、シティネットセッション、ポスターセッション 等			
	9月4日	午前:ビジネスセクターセッション、ファイナンス・セッション 等 午後:クロージングセッション、ポスターセッション 等			
会 場		パシフィコ横浜ノース			
主 催		横浜市	共 同 主 催	一般社団法人イクレイ日本	
参加予定都市 (8/21 時点)		鹿嶋市、川崎市、北九州市、さいたま市、薩摩川内市、東京都、横浜市(日本) ソウル市蘆原区、忠清南道、済州特別自治道(韓国) バリクパパン市、バタム事業庁、ボゴール市、マカッサル市(インドネシア) ケソン市、セブ市、セブ州、デルカルメン市、バギオ市、マカティ市、マンダウエ市、 イロイロ市、ダナオ市、ブトゥアン市、ボロンガン市、モンテンルパ市(フィリピン) バンコク都(タイ)、ダナン市(ベトナム)、セバランプライ市(マレーシア)、ポカラ市(ネパール) フランクフルト市(ドイツ)			
協 力 機 関 (8/21 時点)		アジア開発銀行研究所、エレンマッカーサー財団、一般社団法人海外環境協力センター(OECC)、環境省、国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)、国連開発計画(UNDP)、国連人間居住計画(UN-Habitat)、サークルエコノミー、大学院大学至善館循環未来デザインセンター、シティネット(アジア太平洋都市間協力ネットワーク)、独立行政法人国際協力機構(JICA)、世界銀行東京開発ラーニングセンター、世界経済フォーラム、公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)、駐日欧州連合代表部、公立大学法人横浜市立大学			
一般の方の参加費・申込方法		無料(要登録:当日も登録可) https://reg-apccforum2026.jp/ ※取材申込された方は、参加登録は不要です。			

※詳細は、APCC フォーラム 2026 ウェブサイトをご覧ください。<https://apcc.city.yokohama.lg.jp/>

(2)ポスター出展者

RX Japan 合同会社、アイフォーコム株式会社、鹿嶋市、鹿島建設株式会社、神奈川県立横浜瀬谷高等学校未来共創ラボ、川崎市、株式会社 clivia nobilis、グリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス、独立行政法人国際協力機構、国際農業開発基金/IFAD Youth Club Japan、国際連合地域開発センター、国連人間居住計画(UN-Habitat)福岡本部、薩摩川内市、シティネット、JFE エンジニアリング株式会社、株式会社ジビエ、世界銀行東京開発ラーニングセンター、大成建設株式会社、ダッソー・システムズ株式会社、株式会社竹中工務店、東邦レオ株式会社、日本テトラパック株式会社、株式会社 YUASA、一般社団法人 YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE、株式会社横浜国際平和会議場、レコテック株式会社、横浜市

(3)環境への配慮

エネルギー使用による CO₂排出量の実質ゼロ化、及び廃棄物全体の約 90%のリサイクルを実現しているパシフィコ横浜を会場とします。また、リサイクル可能なネームホルダーの使用とその回収、リサイクル可能な紙容器による飲料水の提供とその回収など、環境に配慮した会議運営を行います。

お問合せ先

(APCC フォーラム全般について)

横浜市政策経営・国際戦略局グローバル都市戦略課担当課長 谷澤 Tel 045-671-4889

(アジア循環型都市宣言制度について)

一般社団法人イクレイ日本事務局長 内田 Tel 03-6205-8415



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



「アジア太平洋循環型都市フォーラム(APCC フォーラム)2026」

取材申込書

【提出期限】令和 8 年 9 月 1 日(火)17 時まで

横浜市政策経営・国際戦略局グローバル都市戦略課 行
 メール：ss-global@city.yokohama.lg.jp

項目	内容	
貴社名(部署名)		
御担当者名		
当日の取材人数	人	
取材セッション等 ※取材の対象は、9月 3日及び4日のみ	日 時	
	セッション等	
取材内容	ムービーカメラ	台
	スチールカメラ	台
御連絡先	電話 () メールアドレス	
備考		

最新のタイムテーブル・セッション情報は、APCC フォーラム 2026 ウェブサイトをご確認ください。

<https://apcc.city.yokohama.lg.jp/>



GREEN×EXPO 2027
 YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

